



# しののめYMCAこども園 園だより

2018年度10月号

発行者：こども園園長 堀江和広

聖句「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。

10月の聖句「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です」  
コリントへの信徒の手紙Ⅰ 3章6節

9月に入っすぐ、大きな台風が関西地方を襲いました。またその一週間後には北海道で、大きな地震が発生しました。北海道の各YMCAは被害を受けながらも、地域の方々と連携してボランティアを募り、復旧活動を行っています。一刻も早く復旧の作業が進み、そこに暮らす人々が心穏やかになる事を願うばかりです。

さて、こども園では9月に入り全園児が揃い、本格的に保育が始まりました。運動会に向けての準備や練習も始まっています。さらに、次年度こども園に入園を希望されている方への見学会も始まり、多くの方々が来館されています。見学会では1～2階を廻り、園児たちの様子を見ていただきながら、保育方針や保育内容、施設等についてご説明します。

見学会は自由あそびの時間と重なるため、園内を廻ると、教室で過ごしている子、廊下で遊んでいる子、こどもコーナーで遊んでいる子…見学に訪れた方々は様々な場所で園児たちとすれ違うこととなります。その度に、「おはようございます！」「こんにちは！」の挨拶が交わされますが、その殆どは子どもたちが自ら進んで声をかけています。

見学の方々は一様に驚かれながらも挨拶を返してくれます。そして「偉いですね」「凄いですね」「驚きました」…この様な感想をお話し下さいます。

挨拶は“されるもの”ではなく“するもの”であり、コミュニケーションの第一歩であると思います。

私は毎朝、園庭の門で園児たちを迎えています。元気な声で「おはよう！」の挨拶が自然と交わされます。またバス登園の園児たちも、バスの運転手さんに「有難うございました！」と、お礼を言って降車していきます。この様な毎日の積み重ねが、自然な挨拶になっているのだと確信しています。

挨拶は人の心をとて「温かく」してくれます。また「元気」にしてくれます。そして人を喜ばせます。見学会に参加された方々が、笑顔でお礼を言いながら帰られるのは、きっと、園児たちが心の底から発した「こんにちは」「おはようございます」の挨拶のお陰だと思っています。そして、目には見えませんが、園児たちの「心」の成長を強く感じています。

園長 堀江和広